

新潟県朝日村朝日スーパー林道のブナ林

白 崎 仁

新潟県北部の三面川上流にある朝日スーパー林道は、観光も兼ねる多目的の用途として建設されたもので、朝日村の集落から川沿いに登って山形県までは20km以上あるでしょうか。林道は三面川の三面川ダムと、その上流の猿田ダムのわきを通り抜けて、鳴海山（852m）の東の山麓から北にのびて頂上付近をかすめるように通り、さらに県境から山形県の鶴岡市方向に続いています。

建設当時、自然保護の立場から反対意見もあったようですが、計画は進められました。2年ほど前から一般車の通行が許可され、多くの観光客を集めています。私は87年10月末頃、ブナ林の植物調査のために初めてこの林道を訪れました。秋の紅葉の最盛期にあたり、その景観の美しさに驚きました。猿田ダムから上流の林道沿いのブナ林は、保存状態は非常に良く、あまり、伐採された所は目立ちません。鳴海山の北西斜面には県の自然環境保全地域に指定されたところもあります。

林は高さ20m、直径40cmを超える大きなブナが主体となって構成され、林床には日本海要素の常緑樹ヒメアオキ、ヒメモチ、ツルシキミ、エゾユズリハ、ハイイヌガヤ、ユキツバキ（稀）や草本のイワウチワ、ヤブコウジなどが生育し、樹幹にはオシャグジデング、ホテイシダ、カラクサシダなども着生しています。この付近のブナ林に生育する植物は130種以上もあり、その内容は極めて豊富であるといえよう。

東蒲原郡上川村の日尊倉山に至る峰越林道のブナ林は、車道に沿った両側の幅10mほど残されていますが、車道からは見えない範囲はかなり伐採され、広く間伐された所もあって、残念でなりません。

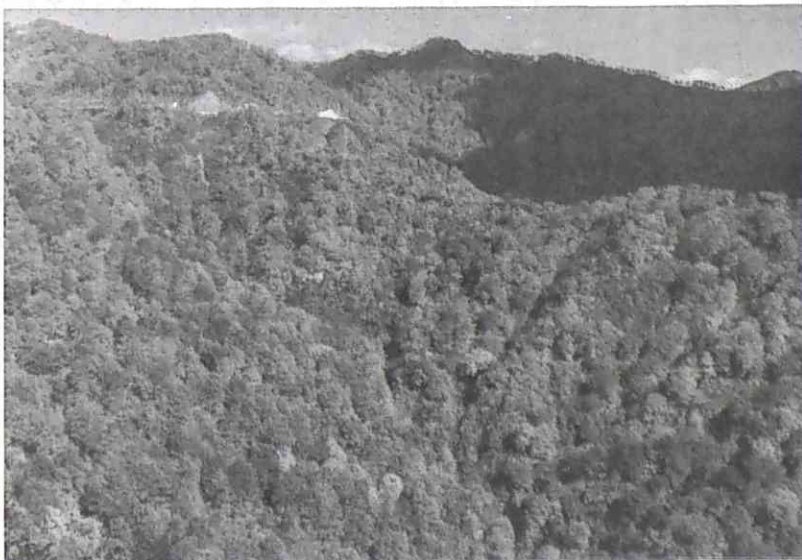
朝日スーパー林道からの景観は日尊倉山に勝るとも劣らないみごとな様相です。伐採は猿田ダム付近の限られた範囲に留まっています。この林道建設が幸いしたかどうかわかりませんが、景観を重視して設計されたものでしょう。北、西から南斜面の広い範囲にわたってよく展望できます。従って峰越林道のように隠れて伐採する場所があまりなく、誰の目にも触れる構造になっています。仮に峰越林道のように車道沿いに残す方法をとれば、朝日スーパー林道の目的の一つである、観光の重要な要素が失われることとなります。

ブナ林は目に見える範囲にあればよく、それこそ保護対策であると主張する意見もあって（某営林署所長の、87年春のNHKテレビ出演の談）、国の林業にたずさわる行政の立場の方々はあるほど自然に対するモラルが欠如しているように思われます。この朝日スーパー林道のブナ林に手を付けることはたやすいことですが、そうすると、一般の目に触れることとなりますので、この地域の大きな損失になり、反対運動に火をつけることになりましょう。

林道の途中から支線をのぼして、立入禁止にし、伐採しているところもあり、この林道沿いのブナ林が周辺から破壊されているようで、心配になります。また、朝日村の高根から鳴海山の北西斜面に沿って新たな林道が建設されつつあり、間もなくこのスーパー林道と連結されます。そうすると、いままで手の付かなかった北西斜面の伐採をするかもしれません。立ち入り禁止の看板がにくいのですが、これはいままでに各所で行った方法で、さんざん切り尽くした後で通行可能となります。苦い思いをしたことはいくたびあったことか。このようなことがおきないように、監視する必要があります。

この地域の貴重な観光資源でもある、すばらしいブナ林をなんとかして保存したいものと思います。

（しらすき ひとし 新潟薬科大助手）



朝日スーパー林道のブナ林



新潟県自然環境保全地域に指定されている

鳴海山のブナ林

組成はオオバクロモジ型、海拔300-700m、面積107haの国有林が保全地域に指定されているが、大型の動物が生息する範囲としては狭く、拡張が望まれる。